

事業コード	H18-建-継-25		区 分	国庫補助	県単独
事業名	雪寒道路整備事業		部局課室名	建設交通部 道路課	
事業種別	堆雪幅確保		班 名	高速道路国道班 (tel) 018-860-2488	
路線名等	国道108号		担当課長名	檜森 悦朗	
箇所名	湯沢市造石		担当者名	伊藤 茂	
総合計画との関連	政策コード	C	政策名	快適で安全な生活を支える環境づくり	
	施策コード	01	施策名	四季を通じて快適な生活環境の確保	
	指標コード	04	施策目標(指標)名	消・融雪施設等整備率	

## 1. 事業の概要

事業期間	H16 ~ H21 (6年)		総事業費	6.4億円	国庫補助率	6/10	
事業規模	延長 L=1,000m、幅員 W=6.0(10.0)m						
事業の立案に至る背景	一般国道108号は、宮城県石巻市をから湯沢市秋の宮を通過し由利本荘市へ至る幹線道路である鬼首道路開通後は通年通行が可能となり、宮城県と秋田県の物流及び観光道路として交通量が増大している。当該区間は緊急輸送路でありかつ冬期観光施設へのアクセス区間であるため、冬期における安全で安心できる道路整備が求められており、四季を通じ誰もが快適で利便性の高い道路環境の整備を実施する。						
事業目的	冬期間における道路空間の確保 危機管理の充実(第1次緊急輸送路) 冬期観光施設へのアクセスの向上						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等		
	事業費	380,000	634,000	254,000			
	経費内訳	工事費	309,312	553,535	244,223	黒沢橋の拡幅を含めた	
		用補費	42,617	42,617	0		
		その他	28,071	37,848	9,777		
	財源内訳	国庫補助	228,000	380,400	152,400		
		県債	0	0	0		
その他		0	0	0			
一般財源	152,000	253,600	101,600				
事業内容	調査・設計 用補、改良、 舗装	調査・設計 用補、改良、 舗装					
事業の進捗状況	調査、設計業務は完了している。工事としては平成17年度末の供用済み延長はL=160m、H18年度末の供用予定延長はL=380mとなっている。(進捗率H18年度末:用地取得83%、工事38%)						
事業推進上の課題	特になし						
関連する計画等	あきた21総合計画における施策「快適で安全な生活を支える環境づくり」を支援する事業						
情勢の変化及び長期継続の理由	四季を通じた快適な生活環境を図るには、積雪・寒冷地区の冬期交通の確保は必要不可欠になっている 平成17年3月22日 旧雄勝町周辺の市町村と合併し湯沢市となった 観光課で実施している「秋田の旅イメージアップ宣伝広告事業」で秋の宮温泉郷を選定した						
事業効率把握の手法及び効果	指標名	冬期幅員確保率					
	指標式	冬期路肩幅員確保延長÷国道108号総延長					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	15.3 %		データ等の出典	道路現況調査		
	実績値 b	15.3 %			平成17年4月1日現在		
達成率 b/a	100.0 %		把握の時期	平成18年 7 月			

前回評価結果等	選定または継続 改善 見直し 保留または中止
	指摘事項
	・特になし
	指摘事項への対応
	・特になし

## 2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年豪雪の経験により冬期交通確保のニーズが高くなっている</li> <li>観光課により「秋田の旅イメージアップ宣伝広告事業」(H18-H19)に秋の宮温泉郷が選定され、今後、観光客が増大すると思われる</li> </ul>	10点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1次緊急輸送路の指定されている</li> <li>前後が拡幅され当区間のみ狭隘部となり事故の発生が懸念される</li> <li>特殊改良一種事業や国体関連生活道路整備事業と一体となって秋の宮地区L=6,100m区間の道路拡幅を行っている</li> </ul>	15点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋の宮地区から雄勝中央病院や湯沢横手道路雄勝ICへのアクセス道路である</li> <li>当地区には秋の宮温泉がある</li> <li>通学路に指定されている</li> <li>堆雪帯の確保はあきた21総合計画に策定されている「快適で安全な生活を支える環境づくり」の中核事業である</li> </ul>	25点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>縦断線形及び平面線形の見直しを行い、舗装工と擁壁工のコスト縮減を行った</li> <li>工区内の黒沢橋(L=15.0m)の拡幅と一体的に整備し、効率の良い事業展開を図るため黒沢橋の拡幅を当計画に取り込んだ</li> <li>平成17年度の交通量は平成11年度交通量より確実に伸びている(1,664台/日→2,053台/日)</li> </ul>	13点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元の協力体制や関係機関との協議・調整については順調に推移している。</li> <li>事業の進捗については、黒沢橋を取り込んだことから、完成年次を平成19年度から20年度とした。</li> <li>今後の進捗については、平成19年度橋梁工着手に向けての調査が完了しており順調な進捗が見られる</li> <li>環境への配慮として切り土法面、盛り土法面は緑化としている</li> </ul>	21点
判 定	ランク ( ) ・「必要性」・「緊急性」が特に高いことから引き続き実施すべき事業である	84点
総 合 評 価	継続 改善して継続 見直し 中止 ・事業継続は妥当である	

## 3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

引き続きコスト縮減に留意しながら、事業を継続する。

## 4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を「可」とする。

評価種別 継続箇所評価  
適用基準名 凍雪害防止事業（堆雪帯）

事業コード (H18-建-継-25 )  
箇所名 (湯沢市造石 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	事業の必要性 県民ニーズ	一般県民を対象とした調査でニーズが高い	5	5	
		一般県民を対象とした調査でニーズを把握	3		
		一般県民を対象とした調査を行っていない	0		
	社会情勢変化による需要変化	増大している	5	5	
		特に変化はない	3		
低下している		0			
計		10	10		
緊急性	緊急輸送道路又は緊急確保路線	指定路線である	5	5	
		指定路線を補完する	3		
		指定路線と関連がない	0		
	事業未実施の影響	周辺への影響等が大きい	5	5	
		周辺への影響等が小さい	0		
他事業との関連	関連事業との調整で緊急性が高い	5	5		
	関連事業との調整で緊急性が低い	0			
計		15	15		
有効性	期待される具体的効果 緊急医療施設へのアクセス	直接アクセスする	5	5	
		間接的に補完する	3		
		アクセスへの貢献は小さい	1		
	高速 I C、空港、港湾等へのアクセス	直接アクセスする	5	5	
		間接的に補完する	3		
		アクセスへの貢献は小さい	1		
	冬期観光施設へのアクセス	直接アクセスする	5	5	
		間接的に補完する	3		
	積雪時の交通安全性	地域の冬期交通円滑化、安全性向上	5	5	
		安全性はさほど向上しない	0		
上位計画への貢献度					
あきた 2 1 総合計画	施策目標の中核事業であり貢献度が高い	5	5		
	施策目標に間接的に貢献する	3			
市町村合併関連	施策目標とは別のその他関連事業である	0	0	0	
	市町村合併の推進に貢献する	5			
市町村合併の推進には特に影響しない	0	0			
計		30	25		
効率性	事業実施コストの縮減 該当項目数	3 項目以上	5	3	
		2 項目	3		
	当初計画事業費との比較	無し又は 1 項目	0	0	0
		減少又は 1 0 % 未満の増加	5		
		1 0 % 以上 3 0 % 未満の増加	3		
	交通量	3 0 % 以上の増加	0	10	10
		1,000 台/日以上	10		
500 台/日以上 ~ 1,000 台/日未満		7			
300 台/日以上 ~ 500 台/日未満	4	0			
	300 台/日未満				0
計		20	13		
熟度	事業の推進 地元の協力体制	事業に協力的で要望書等が提出されている	5	5	
		事業に協力的であるが要望書等は未提出	3		
		要望書が未提出で用地の反対がある	0		
	関係機関との協議・調整	基本事項が合意済み	5	5	
		協議中であるが特に問題はない	3		
		未協議	0		
	事業の進捗状況 進捗率	計画より進捗している	5	1	5
		概ね進捗 (90 ~ 100% 未満)	3		
		計画より遅れている (90% 未満)	1		
	今後の進捗見込み	課題は解決済みで順調な進捗が見込まれる	5	5	
将来的な課題はあるが当面進捗に影響がない		3			
課題解決の見込みがなく事業が停滞する		0			
環境との調和 環境保全への配慮	十分に配慮されている	5	5		
	配慮が不十分で、検討している	3			
	特に配慮はない	0			
計		25	21		
合計			100	84	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度が高い	80 点以上		
	優先度が低い	60 点以上 ~ 80 点未満		
	優先度が低い	60 点未満		